

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公開番号】特開2011-36711(P2011-36711A)
 【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)
 【年通号数】公開・登録公報2011-008
 【出願番号】特願2010-235862(P2010-235862)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示装置の表示状態が特定表示態様となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技演出に用いられる複数種類の可動演出装置と、

前記特定遊技状態に制御するか否かを前記表示結果が前記可変表示装置に導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記複数種類の可動演出装置の動作を制御可能な可動演出装置制御手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段とを備え、

前記複数種類の可動演出装置は、それぞれの意匠が異なり、

前記可動演出装置制御手段は、前記事前決定手段により前記特定遊技状態に制御することに決定されたときに、前記特定遊技状態に制御することに決定されなかったときよりも高い割合で、前記複数種類の可動演出装置のうち一の可動演出装置を第1の状態から前記第1の状態とは異なる第2の状態に遷移させる予告動作制御手段を含み、

前記遊技制御手段は、所定の処理を繰り返し実行するメインルーチンと、前記メインルーチン実行中の所定時間毎に発生するタイマ割込に応じて前記メインルーチンを中断して起動される割込ルーチンとを実行する実行手段を含み、

前記実行手段は、

前記特定遊技状態とするか否かを定めるための特定遊技状態決定用数値を所定の範囲内で更新する特定遊技状態決定用数値更新処理を前記割込ルーチンにおいて実行し、

前記特定遊技状態決定用数値の初期値を決定するための初期値用数値を更新する初期値用数値更新処理を前記メインルーチンにおいて実行し、

前記メインルーチンにおける前記初期値用数値更新処理を開始する前に前記タイマ割込による割込を禁止し、前記初期値用数値更新処理の完了後に前記タイマ割込による割込を許可する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明による遊技機は、可変表示装置（例えば、可変表示装置9）の表示状態が特定表示態様となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技演出に用いられる複数種類の可動演出装置（例えば、遊技演出装置25A, 25B, 29, 30, 33A, 33B）と、特定遊技状態に制御するか否かを表示結果が可変表示装置に導出表示される以前に決定する事前決定手段と、複数種類の可動演出装置の動作を制御可能な可動演出装置制御手段と、遊技の進行を制御する遊技制御手段とを備え、複数種類の可動演出装置は、それぞれの意匠（形状、模様、色彩などを含む概念である。）が異なり、可動演出装置制御手段は、事前決定手段により特定遊技状態に制御することに決定されたときに、特定遊技状態に制御することに決定されなかったときよりも高い割合で、複数種類の可動演出装置のうち一の可動演出装置を第1の状態から第1の状態とは異なる第2の状態に遷移させる予告動作制御手段を含み、遊技制御手段は、所定の処理を繰り返し実行するメインルーチンと、メインルーチン実行中の所定時間毎に発生するタイマ割込に応じてメインルーチンを中断して起動される割込ルーチンとを実行する実行手段を含み、実行手段は、特定遊技状態とするか否かを定めるための特定遊技状態決定用数値を所定の範囲内で更新する特定遊技状態決定用数値更新処理を割込ルーチンにおいて実行し、特定遊技状態決定用数値の初期値を決定するための初期値用数値を更新する初期値用数値更新処理をメインルーチンにおいて実行し、メインルーチンにおける初期値用数値更新処理を開始する前にタイマ割込による割込を禁止し、初期値用数値更新処理の完了後にタイマ割込による割込を許可することを特徴とする。